

「第3回紀の川下流部における減災対策協議会」

～関係各市町の取組状況の報告～

— 和歌山河川国道事務所 —

平成28年度設立した「紀の川下流部大規模氾濫に関する減災対策協議会」で策定した紀の川下流部の減災に係る取組方針に対し、各市・県・国における取組状況等について報告を行いました。

平成29年5月の水防法改正を受け、協議対象を和歌山県が管理する区域まで拡大し海南市長・紀美野町長が新たに協議会委員として、加わりました。また、規約の改定が行われ、承認されました。

概要

対象河川：紀の川水系紀の川、貴志川

【日時】：平成29年6月21日（水）14:00～16:00

【場所】：和歌山河川国道事務所 5階 会議室

【各構成員の主な報告内容】

- ・自主防災会と連携して住民と避難所運営ゲームを実施し、運営について認識を深めた。今後、地域防災力向上のため、各地域の方々と連携して、このような取組を続けていきたい。
- ・平成29年度は風水害を想定した訓練を実施し、水防災意識の向上を図ってきたい。
- ・平成28年からは市民参加型の総合防災訓練と体験型防災教室も開催して、地域の特性に合わせたメニューの訓練を実施している。
- ・市町村が地区単位で避難対策ワークショップの運営者を育成できるように手引きを作成した。ワークショップを開催し、地域の方からは、「参加してよかった」「防災意識が高まった」などの意見を頂いている。
- ・情報を発信する側の危険度や切迫度がきちんと伝わるように、「危険度を色分けした時系列」、「警報級の可能性の提供」、「危険度分布（メッシュ情報）の充実」の改善を行った。
- ・平成29年5月より、洪水予報の氾濫危険情報、氾濫発生情報がエリア内に緊急メールが流れるシステムを運用している。流下能力対策、危機管理型ハード対策について、残りの4年間で整備していきたい。



和歌山河川
国道事務所長



紀の川流域図

【構成メンバー】

和歌山市長、岩出市長、紀の川市長、海南市長（追加）、紀美野町長（追加）
和歌山県（県土整備部長）、和歌山地方気象台長、紀の川ダム統合管理事務所長、和歌山河川国道事務所長



紀美野町長（代理） 和歌山地方気象台長 紀の川市長（代理） 和歌山市長（代理）

沿川市町の取組の様子



避難所運営ゲーム

土糞作り体験



岩出市長（代理） 和歌山県 県土整備部長（代理） 紀の川ダム統合管理事務所長 海南市長（代理）

報告内容を
踏まえて

引き続き、人々にとって安心・安全な流域づくりを目指して、取組方針に掲げられた各取組を協議会メンバーが連携して確実に実施していきます。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 河川管理課
〒640-8227 和歌山市西汀丁16番

TEL 073-402-0265

和歌山河川国道事務所

